


子宮頸がん予防4U

<http://www.teal-and-white.jp/>



あなたの体を守るために
知ってほしいことがあります。

ヒトパピローマウイルス(HPV)による
女性のデリケートな部分への
感染症について



女性として、
大切な体を守るために。

愛するパートナーと結ばれることは、
女性にとって、
こころとからだを満たしてくれるとても大切なことです。
そして、その結果、新しいいのちを授かることもあります。
しかし、その反面で、密接な接触をする行為には、
さまざまなウイルスへの「感染」のリスクがあり、
それによって、女性のこころやからだに傷ついたり、
せっかく授かった赤ちゃんに危険が及ぶこともあります。

女性として、あなた自身で大切なからだを守るために、
性行為によってどんなウイルス感染のリスクがあるのか？
感染しないためにはどうすればよいのか？
まずはきちんと知ることから始めてみませんか。

せん けい
尖圭コンジローマってどんな病気？

♥ 尖圭コンジローマとは

.....

尖圭コンジローマは、ヒトパピローマウイルス（HPV）と呼ばれるウイルスの感染によって、直径1～3ミリ前後の良性のイボが性器（女性の場合は膣、男性の場合は陰茎など）や肛門のまわりにできる病気です。

痛みやかゆみなどの症状はほとんどなく、写真のように、様々な形状のイボができます。カリフラワーやニワトリのトサカのような状態になることもあります。

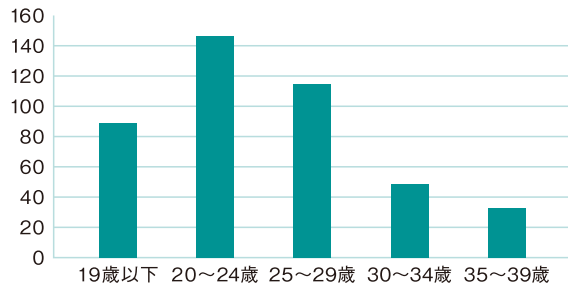


性行為やこれに類した行為によってHPVに感染するため、性感染症の一種とされており、誰にでも感染・発症する可能性があります。

♥ 尖圭コンジローマの患者数

- 日本では、1年間に約3.9万の人が感染していると考えられています¹⁾。
- 発症年齢は20～30代が最も多いと報告されています¹⁾。

1年間の女性の尖圭コンジローマへの罹患率(人口10万人あたり)



1)高橋聡 日本臨床 2009; 67(1): 153-156.

♥ 妊娠中に尖圭コンジローマになっていたら

妊娠している女性が尖圭コンジローマを発症していると、出産するときに赤ちゃんにも尖圭コンジローマのウイルスが感染してしまう可能性があります。症状が重いと、自然分娩をあきらめなければならないこともあります。

赤ちゃんにウイルスが感染すると、のどの中にイボができる「再発性呼吸器乳頭腫症」という病気になることがあります。再発性呼吸器乳頭腫症を発症した赤ちゃんは、一生を通して声がかれたり、イボが大きくなることで呼吸困難になり、命にかかわることがあります。イボを取り除くため、10回、20回と手術を繰り返すことも稀ではありません。



尖圭コンジローマ体験者のお話

はじめに気がついたときにはびっくりしました。

恥ずかしさから、病院へ行くことも、

誰かに相談することもためらいました。

治療でよくなりましたが、またイボが出てこないか不安です。

セックスにも少し怖さを感じるようになりました。

(23歳 女性)

4年前にこの病気に感染してから、2回の再発を繰り返しています。

治療もスムーズにはいかず、気分がふさいでしまいました。

症状が出ている間は、2度と恋もできなくなってしまったような

気持ちになり、休みの日にも外出する気になれませんでした。

とにかく、もう発症したくないという気持ちでいっぱいです。

(28歳 女性)

尖圭コンジローマを引き起こす ヒトパピローマウイルス(HPV)って どんなウイルス？

HPVには100種類以上の型があります。
尖圭コンジローマ以外にも、
子宮頸がん、膣がん、外陰がんや、
皮膚にできるイボの発症にも関係しています。

♥ 子宮頸がんと尖圭コンジローマの ヒトパピローマウイルス(HPV)の違い

近年、ワクチンで予防できる唯一のがんとして注目を集めている子宮頸がんも、尖圭コンジローマと同じヒトパピローマウイルス(HPV)が関係している病気です。

子宮頸がんや膣がん、外陰がんに関係するヒトパピローマウイルス(HPV)はがんを引き起こす高リスク型(HPV16型、18型など)であるのに対し、尖圭コンジローマに関係するヒトパピローマウイルス(HPV)は良性腫瘍のみを発症する低リスク型(HPV6型、11型)で、種類がまったく異なります。

主に関係する
HPV型

尖圭コンジローマ……………HPV 6型、11型
子宮頸がん、膣がん、外陰がん……HPV 16型、18型、など

※上記の型以外のHPVが病気の発症に関係することもあります。それぞれの病気を発症した患者さんの多くで、これらの型のHPVが多く確認されています。



「尖圭コンジローマかな？」 と思ったら・・・

尖圭コンジローマは、
性交渉によって誰もがかかる可能性のある病気です。
もし、性器や肛門のまわりにイボがあれば、
尖圭コンジローマという病気を疑い、
医療機関で受診することをお勧めします。
おもに婦人科で治療を行っています。
尖圭コンジローマの治療は、
くすりによる治療と、
手術やレーザーによって
イボを取り除く外科的な治療があり、
イボの場所や大きさに応じて治療方針が決められます。

1 気をつけること

.....

尖圭コンジローマの原因となるヒトパピローマウイルス(HPV)は、性交渉によって感染するため、完全に治るまで性交渉は避けることが大切です。

あなたが尖圭コンジローマに感染した場合、パートナーも感染している可能性が高くなります。

現在、パートナーに症状が出ていなくても、ウイルスには潜伏期間があるため、すでに皮膚や粘膜にウイルスが感染している可能性もあります。

2 パートナーへ伝えましょう

.....

勇気を出してパートナーに伝え、ふたりの病気として治療していきましょう。また、パートナーにも、できるだけ早く検査を受けるよう勧めてください。

3 尖圭コンジローマの予防法

.....

尖圭コンジローマは治療しても再発する可能性が高い病気です。そのため、できるだけ感染しないよう、予防することも大切です。

性行為によって感染するため、多数の相手との性交渉は避けた方が感染するリスクを減らすことができます。

コンドームの使用も有効とされていますが、カバーできる範囲が狭いため、実際にどのくらい予防効果があるのかは証明されていません。

詳しくはお医者さんにご相談ください。



海外では、尖圭コンジローマを予防するため、ワクチンによる予防接種ができます。実際に20～30代の多くの女性が接種しています。

MSD株式会社は子宮頸がん予防4Uの活動を応援しています。